

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／専門演習1 (Advanced Seminar 1)		
担当者名 (Instructor)	河合 優子(KAWAI YUKO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	ICC3543	言語 (Language)	その他 (Others)
備考 (Notes)	定員:7名		

#### 授業の目標 (Course Objectives)

「卒業研究」のテーマおよび課題を設定し、先行研究文献調査を開始する

Students will explore and find a research topic and questions for their senior thesis and start a literature review.

#### 授業の内容 (Course Contents)

異文化コミュニケーションと多文化社会に関する諸課題を、「交錯」という概念を軸に歴史的かつトランスナショナルな視点で捉えることを学び、それを通して各自の研究テーマを探ることを目的とする。授業ではまず、多文化主義について考え、日本からの移民、そして日本への移民を歴史的にとらえる。そして、ネイション、人種、エスニシティ、ジェンダー、階層、宗教など複数の要素の「交錯」を扱った研究を読むことで、異文化コミュニケーションと多文化社会に関する諸課題への理解を深め、各自の卒業研究テーマを探るとともに、論文の書き方を学んでいく。

This seminar provides students with an opportunity to historically and transnationally examine issues of intercultural communication and multiculturalism with a perspective of “intersectionality”. Students will first think about multiculturalism and historically understand migrants from and to Japan. Then students will read academic papers that study intersectionality involving nation, race, ethnicity, gender, class, religion and others and deepen the understanding of those issues. By reading the papers, students will explore a topic for their senior thesis and learn how to write a research paper.

#### 授業計画 (Course Schedule)

1. 導入
2. 日本社会と移民
3. 多文化共生とは
4. 日本のトランスナショナリズム
5. 交錯とは
6. 越境と混濁(1)トランスナショナルな家族形成
7. 越境と混濁(2)ハイブリッド化する帰属意識
8. 言説と実践(1)トランスナショナルな階層意識
9. 言説と実践(2)人種主義とナショナリズム
10. メディアと表象
11. 卒業研究発表
12. 期末レポート発表(1)
13. 期末レポート発表(2)
14. まとめ

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

発表者以外の受講生も、必ず課題文献を読んだ上で参加すること。

#### 成績評価方法・基準 (Evaluation)

出席・授業参加貢献度(30%) / 口頭発表(30%) / 期末レポート(40%)

#### テキスト (Textbooks)

1. 河合優子 編著、2016、『交錯する多文化社会』、ナカニシヤ出版 (ISBN:4779511143)

#### 参考文献 (Readings)

授業で指示する

#### その他(HP等) (Others(e.g.HP))

授業は受講生の発表および討論を中心にすすめる。提出物はコメントをつけて返却する。

#### 注意事項 (Notice)

